

昭和中だより

令和5年8月25日
第5号



文責：
秋元 秀文

令和5年度 目指す学校像
「生徒の主体性が尊重され、生徒・職員ともに心を寄せ合い、感謝し合える学校」
教育目標：英知・敬愛・鍛錬 校訓：「凡事徹底」「フラス思考」

『県総体』(7/26~30)

郡の代表として、たくさんの昭和中生が、県大会で活躍してくれました。この経験を、自分の糧として、生かしてほしいと思います。また、暑い中、送迎や応援でお世話になりました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

水泳ー100mバタフライ：高橋 輝親くん 予選敗退

200m平泳ぎ：高橋 輝親くん 予選敗退

卓球ー女子団体：初戦敗退

男子個人：井熊 歩夢くん 3回戦敗退

加藤 天翔くん 初戦敗退

野球ー初戦敗退

バレーボールー初戦敗退

柔道ー男子団体：ベスト8 女子団体：決勝トーナメント 初戦敗退

男子個人階級別：後藤 英太くん 初戦敗退

徳江 郁水くん 第3位

新田 旭くん 優勝(関東・全国大会出場)

加藤 優一くん 初戦敗退

中里宗一郎くん 初戦敗退

倉澤 暖くん 初戦敗退

女子個人階級別：星野 凜華さん 初戦敗退

新田 美瑛さん 初戦敗退



『関東・全国へ』(8/9・8/20)



柔道部の3年生新田旭くんが、県総体個人戦階級別で見事に優勝し、関東・全国大会への出場権を獲得しました。おめでとうございます。コロナ禍の中で、なかなか思うように練習ができない状況が続いていたとはいえ、県大会決勝では、見事な逆転勝ちでした。応援していた私も、つい興奮してしまいました。観客席の応援団は、歓喜よりも感涙にむせぶ状況で、かえって静かだったかな、という感じでした。

8月4日には、堤村長様と小野教育長様に、優勝の報告と関東・全国への抱負を伝えるために、表敬訪問をさせていただきました。お二人から、たくさんの激励のお言葉をいただき、ありがとうございました。

8月9日の関東大会は、埼玉県上尾市で開催されました。また、全国大会は徳島県鳴門市で開催されました。経験した本人はもちろんのこと、同行した顧問にとっても、応援に行った部員たちにとっても、貴重な時間になったことでしょう。昭和中に、新たな伝統がまた一つ刻まれましたね。

【結果】 関東大会ー初戦敗退 全国大会ー初戦敗退

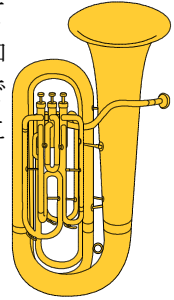


『吹奏楽コンクール中部地区大会』(7/29)

吹奏楽部の出場する県吹奏楽コンクールは、A組とB組の2部門に分かれています。違いは、編成人数、演奏曲目、演奏時間、上位大会です。例年、昭和中はB組に参加しています。演奏曲は1曲、7分以内で、人数は35人以下です。参加校が多いため、3つの地区別大会を経て、県大会に出場する仕組みになっています。県大会で上位になると、西関東大会、東日本大会へとつながります。テレビ等で取り上げられる全国大会は、A組の参加校のみです。

今年の吹奏楽部18人は、外部講師の黒澤宏美先生の指導の下、「復興への序曲『夢の明日に』』という曲で、大会に挑戦しました。練習方法や練習予定の組み方など、例年とは異なる形での取り組みとなり、戸惑う場面もあったと思います。しかし、過去に、吹奏楽部に関わった経験がある私から見て、部員たちは実によく頑張ったと思います。結果は、銅賞でしたが、ベイシア文化ホールに観客がたくさんいる中で、演奏できたことは、貴重な財産になります。

今年は、演奏会「秋の夕べ」も、村公民館ホールにて復活します。当日は、是非観客席を満員にしたいものですね。楽しみに待ちましょう。



『昭和村海外交流事業』(8/7~8/16)



コロナ禍で中止になっていた昭和村海外交流事業が、今年度より復活いたしました。昭和中の3年生から、希望者9人が、7泊10日のホームステイを経験してきました。織田澤くん、松井くん、儘田くん、吉澤くん、飯塚さん、金子さん、須田さん、鶴渕さん、綿貫さんたちは、5月から事前研修に取り組み、英会話のレッスンや、日本食の調理実習など、様々な経験を経て、本番に臨みました。

今後、村への報告会があり、また中学校での報告会があり、後輩たちへの引継ぎが予定されています。体験の全てが、参加者の財産となり、村への還元がなされることに期待したいと思います。貴重な機会を設けていただいた、関係者の皆様に、感謝申し上げます。



『利根・沼田少年の主張大会』(8/19)



校内少年の主張大会で、学校代表に選ばれた、2年戸丸凜歩さんが参加した、利根・沼田少年の主張大会が、川場村文化会館にて開催されました。利根沼田13校の代表が集まった大会の中で、2年生は戸丸さんただ一人。他は全員3年生という状況でしたが、「性別への決めつけ」という内容を、堂々と話す姿は、実に立派なものでした。終了顔、自己採点を聞いてみたところ「90点」と話してくれました。常に向上心を持っていたいので、満点はつけないという理由だそうです。結果は優秀賞でしたが、夏休み中の練習の成果が発揮された、素晴らしいものでした。ありがとうございました。

『2学期のはじめに』

35日間の夏休みが終わり、授業日82日の2学期が始まりました。大会や行事等で、大変貴重な経験をした生徒たちばかりに目が向けられがちですが、170人の生徒一人一人が、何らかの事を体験し、考え、休みに入る前と比べて少なからず成長した姿で、学校に戻ってきました。もちろん、いいことばかりだとは思いません。私たちにできることは、生徒たちの変化を見逃さないこと、相談しやすい雰囲気を持ち続けることだと考えています。思春期の子供たちを、地域の皆さんと支えていきたいと思っておりますので、今学期もよろしくお願いたします。